

ふふ、かなり酔ってしまっただようね、指揮官？
弱いのなら無理して私に合わせなくてもよかったのに……

どう？指揮官……
その優しさに免じて、
今ならふざけたこととしても気にしないでやるわ

なんて……
ふふ、冗談よ

う、うん？
聞こえなかったのか？
指揮官、冗談よ……？

ま、まさか本気？

お、お、お……
きゅんきゅん……
♡♡♡

きゃっ!?!
こ、こ、こ……!!
勝手に破くなっ……!!
か、勝手に挿れるな……!!



あ、

ま、待ちなさい……!
そんな乱暴に……

は、

待って!
私が動かしてやるから……!

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ



あま
ゆ
る

あま
ゆ
る

ん!?

ん



ん、ちゅ……♡
ずいぶん濃いわね……

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ん？
もちろんこれで終わりじゃないでしょ？
それに――

お前のせいで私もスイッチが入ってしまったのよ？
そう、お前のせいだ♡

当然責任は取るわよね？
私を釘付けにさせるんでしょう？
できるかしら？
ふふふ…♡

ハッ、

ハッ♡

ハッ♡





あん。

奥っ...いきなり...っ

はっ

ちゅ

ん

はっ

あ

ちゅ

んっ♡♡

待っ、激しいっ……!!
お前のがまたっ……中で硬く……っ!!
おく……えぐって……♡

あっ♡

あん♡

はあっ♡

んっ♡

おんっ
おんっ

「……これくらいで……感じてなんか……
そんな声出てないかよ……」
のっ……っ……っ……

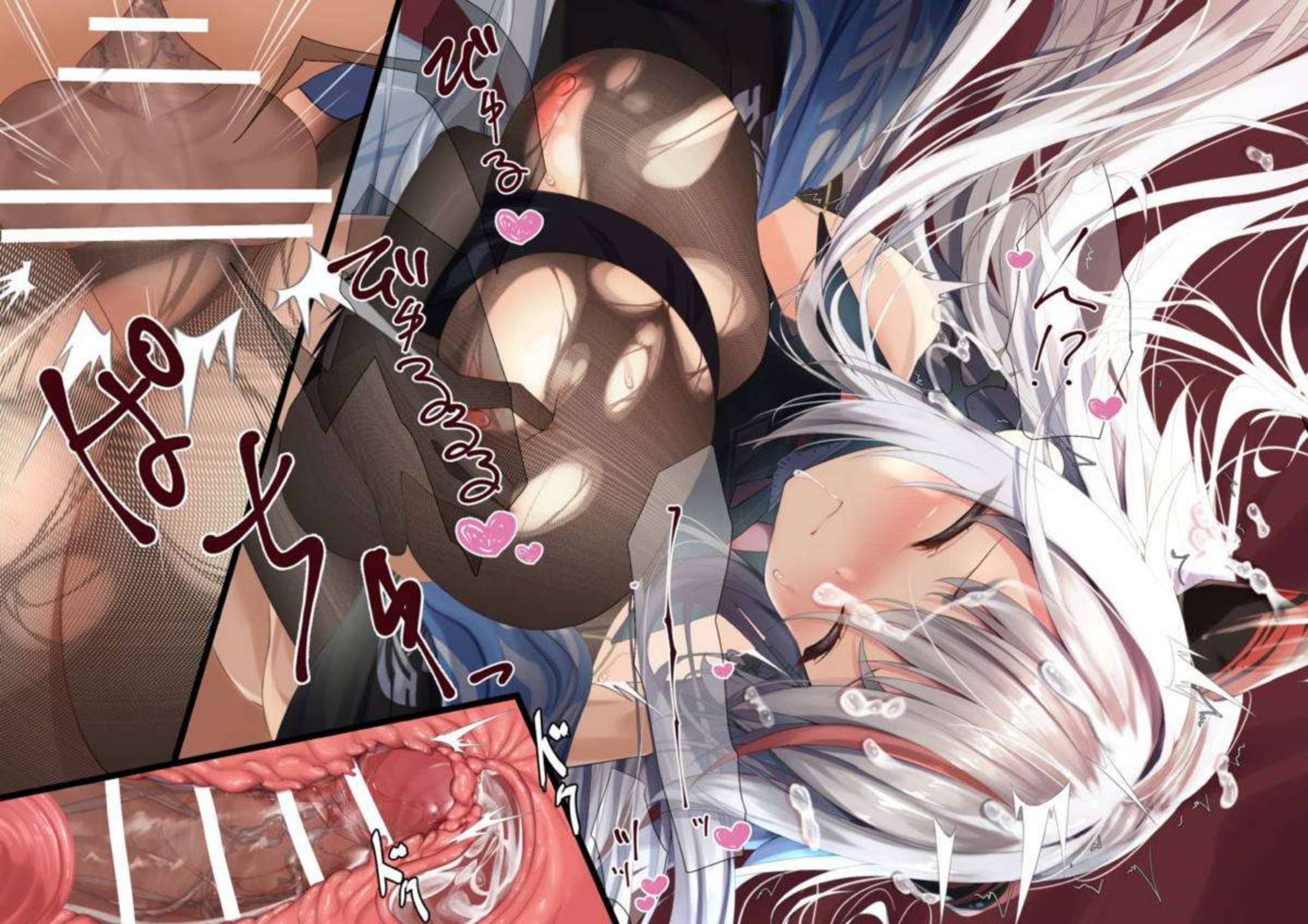
おんっ

おんっ



ぬちゅ

ちゅ



ゴ

ク

ク

びゅる

びゅる

!?

びゅる

ク



んうっ、まだっ!?

あっ

はあ

はー

はー

お、奥に擦り付けるようにするなっ……!!
違っ!吸い上げてなんか……!!

びゅっ

あーん

びゅっ

びゅっ



んんん
んんん

んんん
んんん

んん
んん

んんん
んんん

あ、まだこんなに……♡

ふふっ♡

んん♡

♡♡

♡♡



せーのー一回………

……うさぎ……♡

んっ♡

あっ♡

あっ♡

あっ♡

あっ♡

あっ♡

あっ♡

あっ♡















